

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

会 長

署名委員

署名委員

第1回 上富良野町国民健康保険運営協議会議事録

1 日 時 自 平成 23 年 6 月 7 日 19 時 00 分

至 平成 23 年 6 月 7 日 20 時 30 分

2 場 所 上富良野町役場 審議室

3 出席者

公 益 代 表 北川 昭雄・五十嵐 順美

保険医・薬剤師代表 渋江 久・矢花 修・石澤 美穂

被 保 険 者 代 表 鎌田 孝徳・小松 紀代美

(欠席委員 大柳 房子・杉本 隆一)

事 務 局 町長・町民生活課長・健康づくり担当課長・総合窓口班主幹

及川主査・末永主査・大串主事

4 付議議題

- ・ 平成 23 年度国民健康保険特別会計補正予算について

町長挨拶	
副町長	<p>平素より国保事業の運営に際しご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。平成22年度の国保事業については基金の取り崩しなども行い、何とか決算期を迎えることができた。また平成23年度以降の運営については大変厳しい状況を迎えることが予想される中、皆様のご了解を賜りながら3月の議会において税率改正をさせていただいたところである。事務方の試算により23年度の税込見込は当初予算を確保ができる見通しを持っているところである。</p> <p>また、委員の皆さんの委嘱任期は本年8月迄となっているが、任期満了後も引き続き国保事業の運営にお力をお貸しいただくようよろしくお願いしたい。</p>
会長挨拶	
会長	<p>4月の人事異動により事務局担当の顔ぶれが変わったところであるが、6月定例議会を控え22年度会計決算の状況、23年度の補正予算案について諮問するという事で皆様にお集まりいただいた。昨年の所得状況は一昨年と比べ落ち込んだと聞いており、社会情勢については依然として厳しい状況が続いているが、安定した国保運営が今後も確保されるよう皆さんと共に協力して参りたい。</p>
<p>会議に先立ち、4月人事異動に伴う事務局（町民生活課長・総合窓口班主幹）就任挨拶。</p>	
会長	<p>今回の運営協議会議事録署名委員について事務局案は。</p>
町民生活課長	<p>矢花委員・鎌田委員にお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>今回の運営協議会の議事録署名委員は矢花委員・鎌田委員にお願いします。</p>
1 報告事項	
(1) 平成22年度国民健康保険給付状況について	
及川主査	<p>議案P1～6により説明。</p> <p>上富良野町の総世帯数・総人口は平成16年度以降減少が続いており、22年度もその傾向は変わらなかった。国保加入率についても世帯数・被保険者共に減少の傾向にあるが、年間を通じて後期高齢者医療該当による国保離脱が若年層の加入異動を上回</p>

	<p>っており、後期高齢者医療への加入割合は13%超の水準に増高し、高齢化の推移が顕著であり、被保険者の減少は今後も一定程度続くものとみている。</p>
	<p>また、22年度の単年度の傾向として、定年退職後世代の加入異動届出が例年以上にあったことから、年齢階層では介護保険第2号被保険者層の減少が比較的抑えられた結果となった。平成22年度の給付状況は、対前年比で受診件数が抑制されている一方で、保険者負担額がプラス5.6%と増加に転じ、医療費分析上では被保険者数の減少による1人当たり医療費の増加、入院費用額の増による1件当たり医療費の高額化がみられる給付の傾向となった。</p>
	<p>月別の保険者負担額では、殆んどの月で21年度の給付を上回っており、中でも69歳以下の医療費所要額がほぼ横這いで推移しているのに対し、70歳以上の高齢者に係る所要額の増嵩が著しく、高額疾病も散見される状況にあった。</p>
会 長	<p>このままの状況が続くと国保運営上、かなり厳しい状況となることが予想されますが、高額な医療費の給付に至ったのは何かしらの原因があるのですか。</p>
及川主査	<p>平均年齢の上昇といった要因もありますが、今年度は例年になく高額なレセプトが散見される状況でありました。これが恒常的に続くものかどうかは現段階では判断できませんが、平成19年度も今回と同様に医療費が増加し、その後の2年間は沈静化した過去の経過もあるので、単年的なものであると考えています。</p>
会 長	<p>月別負担額のうち、12月に大きく給付が伸びた原因は。</p>
及川主査	<p>心疾患によって1件で600万円程かかったレセプトがあり、その他にも高額な治療が12月期に集中したことによるものです。</p>
健康づくり担当課長	<p>別添資料「特定健診受診の有無と生活習慣病にかかっているお金」による補足説明。</p>
	<p>平成21年度の医療費統計を用い全道平均と上富良野町の医療費について比較したところ、他町村では65歳到達以降の医療費が全道平均を上回っているのに対し、本町は各年齢層の医療費が全て全道平均以下に留まっている。使う人の年齢が高いことにより医療費が年々多額になる傾向にはあるが、全道規模の比較では低い水準にある。</p> <p>また、特定健診の受診者・未受診者相互の生活習慣病治療に係る医療費の比較をすると月額で15,000円、年額換算では18万円の格差がつくことに着目。病院を受診していることを理由に健診受診しなかった対象者のうち、約半数が健診内容との関連がない診療科での受診であった。今後は医療機関から受領した健診データの更なる有効活</p>

	用を図りながら、健康相談等を積極的に実施していく。
会 長	ほかに何か質問・意見等ありませんか。
各委員	(特に意見なし)
	(2) 平成 22 年度国民健康保険特別会計決算状況について
及川主査	議案 P 7～9 により説明。
	22 年度事業については、歳入決算額 14 億 7,290 万円に対して歳出決算額 14 億 1,068 万円、歳入歳出差引額 6,221 万 1,525 円が余剰金として 23 年度会計へ繰り越しとなる。財政調整基金は 22 年度に 26,000,000 円を支消したことより保有額が底をついた状態にあって、年度末に利息分の積戻しを行い現在 18 万円程度の残高となっている。
	また税収納状況は、現年課税分・滞納繰越分共に堅調に推移する中で決算期を迎えたことによって対前年度比でプラス 1.3%の収納率となり、歳入予算現計を上回る決算となった。
会 長	22 年度は収納率が上昇したということで、そこは評価するひとつのポイントであるように思います。翌年度への繰越金は、21 年度に 9,200 万円あったものが 22 年度は 6,200 万円になったと。基金の取り崩しで不足分はこれまでは対応してきたが、23 年度は基金が無いので不足分を税率改正で補うということです。歳出科目に老人保健拠出金がありますが、これは 22 年度が最後の支出ということですか。
及川主査	そのとおりです。
会 長	国保の方の出産が比較的多かったように見受けられますが、全体の状況についてはどのようになっていますか。
及川主査	22 年度の出産は総数で 100 件程あり、うち 18 件が国保被保険者による出産でした。 参考として、出産や社保離脱によって国保加入された方が 22 年度は 120 人程おられました。同様に後期高齢者医療に 147 人の方が移行し、国保を離脱された状況となっています。
町 長	被保険者の総数としては、入ってくる方よりも出ていく方が多いので、徐々に分母が縮小しています。
会 長	事務局からの報告事項に対し、ほかに何か質問・意見等ありませんか。
各委員	(特に意見なし)

2 諮問事項	
(1) 平成23年度国民健康保険特別会計補正予算について	
及川主査	議案P10～13により説明。 平成22年度の会計決算に伴い、23年度会計への繰越金額が確定した。それにより23年度会計における歳入繰越金の増額補正を行うものである。併せて歳出分は、22年度事業による事務費・人件費等の執行残を一般会計へ戻入れるため、その他支出金(一般会計繰出金)を増額補正し、残りは予備費への計上とした。 23年度の税込については、7月に当初の賦課額を最終決定することとしているが、現段階までの情報によって推計試算したところ当初予算ベースの確保はできると見込んでいる。また、23年度所得は農業等の分野で落ち込みがあるとの情報を得ており、所得割基礎額を今年度は低めに設定した。最終的には前年対比でおよそ1億円程度の所得減があると予想しているところである。
五十嵐委員	今回の補正は決算によるものなので、特に内容等に異議はありません。
会 長	今年度所得基礎額の94.4%というのは何の比率ですか。
町民生活課長	単純な前年度との比較によるものです。数日中に23年度の所得が確定する予定ですので、その後、所得基礎額についても実数が確定することになります。
五十嵐委員	高齢化が進行している中、医療費が増加傾向にあるのはやむを得ない面がありますが、行政が日々健康事業等に熱心に取り組まれ、また医療費の抑制策を真剣に考えていることに対し、非常に感心しているところです。しかし、高齢化及び高医療費状態が今後どの時点で歯止めがかかるのか、将来的なことを考えた時に非常に不安になります。
町 長	先程説明しましたとおり、上富良野の医療費は他市町村との平均より低い位置にはありますが、どこの自治体も高齢者にかかる医療費は増加傾向にあり、国保の運営が重くなってきています。国保の運営だけをみると、今後は社会情勢などにも左右されますが、若年層を多く抱える自治体が有利になっていくと思います。
会 長	他に事務局からの提案事項に対し、何か質問・意見等ありませんか。
各委員	(特に意見なし)
会 長	特になければ、諮問事項については決算に基づくものなので、事務局案が適当と認め答申することよろしいか。
各委員	(賛成多数、承認)

会 長 以上、報告案件、諮問事項がありました。他に何もなければこれで本日の運営協
議会を終わりたいと思います。